

2017年4-5月 リユースモバイル通信端末の買取概況

——4-5月の買取台数、各月15,000台以上を維持

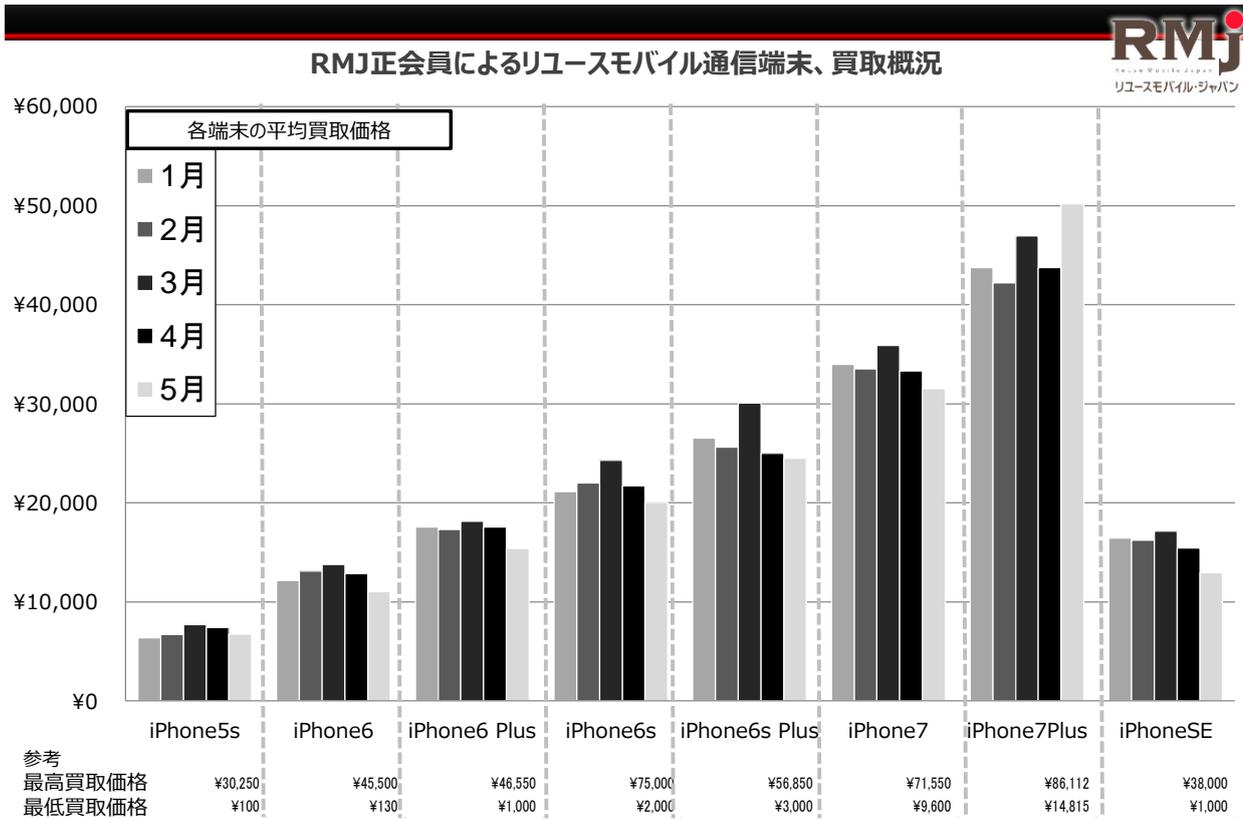
リユースモバイル通信端末（中古携帯電話端末）販売事業者の業界団体であるリユースモバイル・ジャパン（RMJ）は6月29日、4-5月の期間に会員企業の店舗が消費者から買い取ったリユースモバイル通信端末の台数と平均買取価格について調査結果をまとめた。これは各月ごとに集計した数字を比較したもので、調査対象のサンプルとしてアップル社のiPhone5s以降に発売したiPhone、8機種を取り上げた。

■5月は8機種中6機種の平均買取価格が過去最低

RMJが調査対象とした端末はアップル社がiPhone 5s以降に発売した再利用可能なリユースモバイル通信端末の8種類。調査結果によると、4-5月の2ヶ月でRMJ正会員8社（※）が買い取ったリユースモバイル端末の平均買取価格については3月以降ゆるやかに下降し、5月は8機種中6機種が過去5か月間で最低となった。しかしiPhone 7 Plusは、5月に買取価格が高騰し、過去5か月間での最高平均買取価格となった（図1、図2）。買い取った端末総数は36,080台。3月と比較して減少したものの、各月15,000台以上を維持した（図3）。

今後もRMJではリユースモバイル通信端末の市場動向を情報公開し、透明性のある健全な業界の育成をめざす。

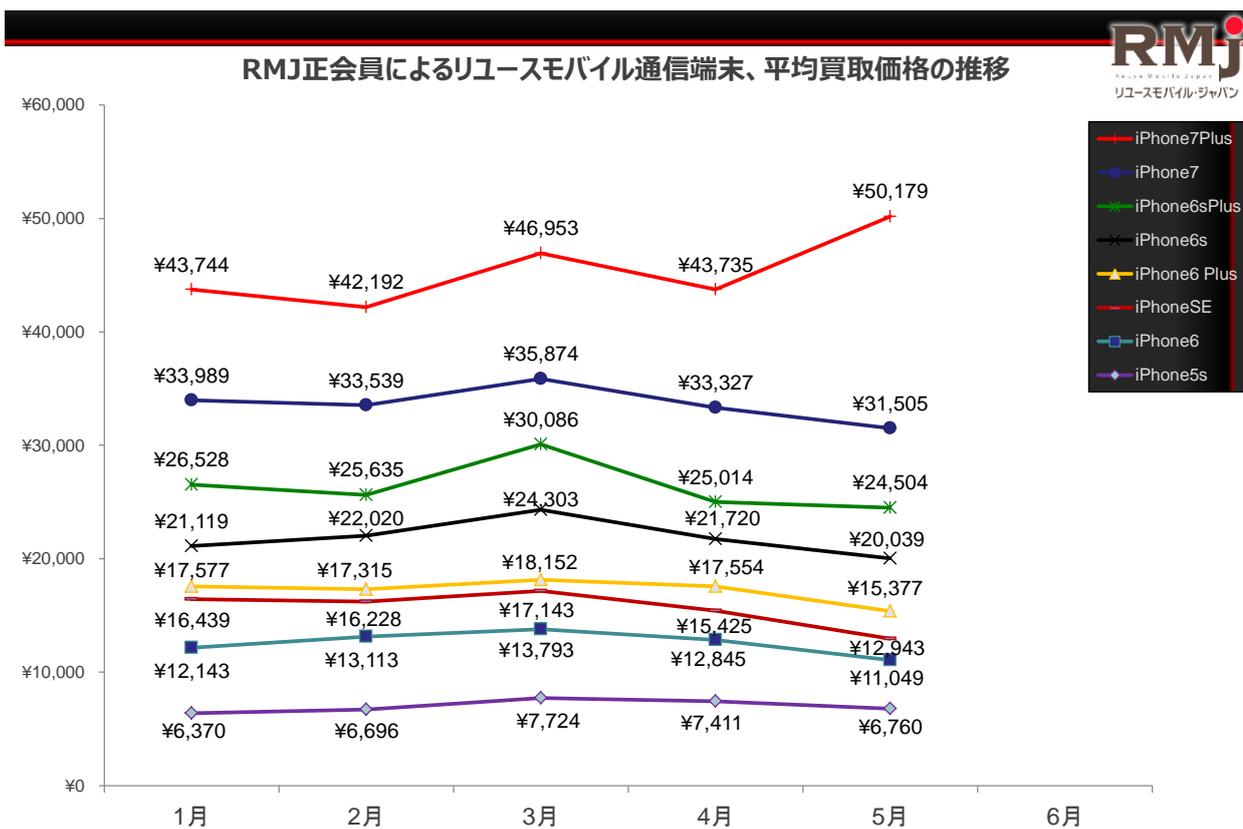
図 1：RMJ 正会員によるリユースモバイル通信端末、買取概況



※ 店頭で、個人から買い取った再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部、修繕可能等の判断や業者間取引で買い取った低価格品が含まれることがある

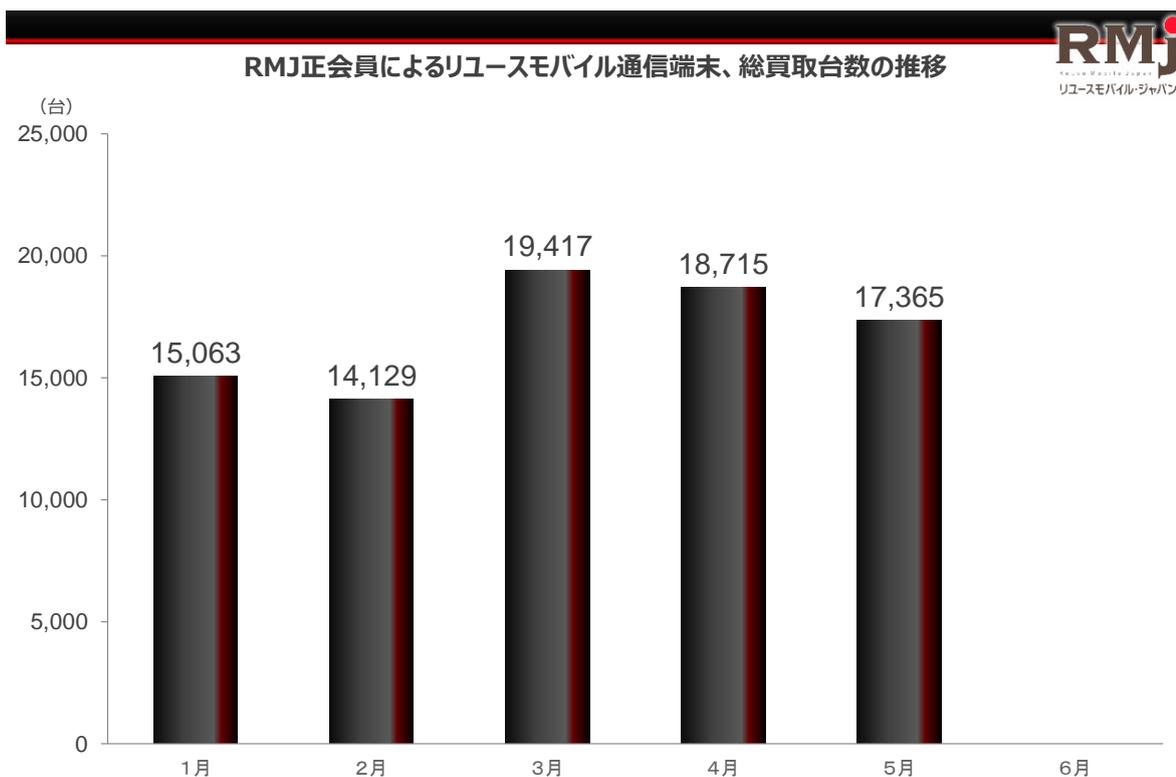
※ 最高買取価格・最低買取価格はRMJ正会員企業の1月以降の買取実績の全サンプルのうち、端末毎の最も高値及び安値で買い取った価格を表記

図 2：RMJ 正会員によるリユースモバイル通信端末、平均買取価格の推移



※ 店頭で、個人から買い取った再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部、修繕可能等の判断や業者間取引で買い取った低価格品が含まれることがある

図3：RMJ正会員によるリユースモバイル通信端末、総買取台数の推移



※ 店頭で、個人から買い取った再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部、修繕可能等の判断や業者間取引で買い取った低価格品が含まれることがある

統計対象製品について

会員(理事企業以上)8社が、店頭で、個人から買い取った、再生利用可能な端末を原則として統計の対象としている。例えば再生可能との判断を「画面割れ」がないなどの条件で定義をしている。

しかし、集計の過程でやむを得ず、一部事業者間取引や、修繕等を前提として再生可能と判断し低価格で買い取った端末が含まれることがある。

※団体概要

代表理事	株式会社携帯市場
副代表理事	株式会社ゲオ 株式会社 TSUTAYA ブックオフコーポレーション株式会社（順不同）
理事	日本テレホン株式会社 株式会社ネオリア 株式会社パシフィックネット エコケー株式会社（順不同）

リユースモバイル・ジャパン URL: <http://rm-j.jp/>

「iPhone」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

■リリースについてのお問い合わせ先
事務局：普久原 由依（ふくはら ゆい）
TEL：03-3526-2755
Email: info@rm-j.jp